

## 平成 29 年度第 2 回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会会議録

1 日 時 平成 30 年 3 月 9 日（金） 15 : 00～16 : 20

2 場 所 市役所 2 階入札室

3 出席者

（委員） 谷岡裕司委員長・松村順子副委員長  
北岸由利子委員・松谷 淑委員・佐藤章一委員(新)・  
佐藤一美委員・柳田和弥委員・牛坂 勉委員  
（事務局） 片原市民生活部長・野水安全安心生活課長  
石垣副主幹・大西主査

4 次 第 (1) 開会

(2) 任命書交付

(3) 市民生活部長あいさつ

(4) 委員長あいさつ

(5) 説明事項

- ・ 平成 29 年度防犯施策の取組について
- ・ 平成 30 年度防犯施策事業について

(6) 懇談

(7) 閉会

## 懇 談 要 旨

### ●懇談

#### ① 「防犯カメラ」について

○錦岡地区は沼ノ端地区同様広範囲で自転車の窃盗も多い。JR錦岡駅から高専まで自転車で通学する子どももいるので、予算措置可能であれば設置をお願いしたい。

**【事務局】** 現 5 年計画は公共施設を優先に設置を進めてきている。また、今回初めて沼ノ端北大通りからJR沼ノ端駅まで国の補助金を活用してカメラを設置した。その効果も検証の上、関係部局と協議検討して行きたい。

#### ① 「防犯カメラ」について

○カメラの精度を求められる場所と単に防犯目的だけでいいところがあると思うが、設置に当たってのバランスは。また、JR駅の担当はどこなのか。

**【事務局】** 設置にあたり、その要求される精度に応じダミーカメラを含め、有効活用を図っているところ。また、JR駅構内はJRが設置管理、沼ノ端駅自由通路や駅北口は市が設置管理している。

#### ② 犯罪被害者窓口はどこが担当か。

**【事務局】** 市民生活課が担当(防犯対策取組状況一覧に表記)。また、消費者対応では、市民活動センター内の消費者センターにおいて相談窓口開設、平日及び第一・第三土曜に専門相談員配置し、電話や面談対応している。

#### ③ 「特殊詐欺」について

○被害の年代層は。また、家に閉じこもっている方への啓発は。

**【事務局】** 被害者の9割が高齢者でその8割以上が女性。啓発として出前講座を29年度は7回実施、実際の犯人の声や対策DVDを視聴してもらっており、アンケートでの感想は好評、啓発効果は高い。また、詐欺対策として電話録音機の貸出しを実施している。

#### ① 「歳末パレード」のあり方について

○街頭に人があまりいない中でのパレードの意義は。また、参加者が終了後、

寒い中車まで戻らなくてはならないが負担にならない方法は。これは参考意見として聞いて欲しい。

**【事務局】** 交通安全、火災予防、防犯、暴力追放を市民が一堂に会して訴えて認識を高めている。あり方については少し時間をもらいたい。

## ② 「子どもSOSの家ステッカー」について

○美原町は最近とみに住宅が増えているが、ステッカーの配布方法・普及具合は。

**【事務局】** 健康子ども部に確認をとる。

## ① 「防犯パトロール車両」について

○防犯対策取組状況一覧に、安全安心生活課担当の交通安全啓発表示車両での巡回とあるが、どんな車両か。また、NPO所有の青色回転灯装着車両は白黒のツートンで警察車両と見間違えるほどその効果が高いと思うが、良く見かける指導センターの啓発車両は、ベージュ色なので抑止効果をより高めるために、ボディに何か目立つものを張るとかの工夫が欲しいと思う。

**【事務局】** 交通安全指導員用車両の白黒色車両を、警察及び運輸支局から認可をとり青色回転灯装着車両として、29年度から運用を始めた。指導センターでの青色回転灯装着運用車両は、通常公務用としても使用しているものなので白黒のツートンは難しいが、委員の意見は担当部局に伝える。

## ② 「ゾーン30」について

○ゾーン30は交通安全にとどまらず低速運転による連れ去りなどの防犯効果も高いと思うので、今後の設置計画はあるか。

**【事務局】** 拓勇・拓進小の周りに1ヶ所あるが、学校周辺的生活道路が対象で地域からの要望が重要。また、地域住民に了解を取り設置する場合もあり、警察を通して道に設置要望する形をとっている。

## ① 「防犯施策全般」について

○子どもSOSの家ステッカー、青色回転灯車両巡回、特殊詐欺抑止、防犯カメラ等による施策は、人の目があり目立つことでの効果が高いと思う。歳末パレードもそういう意味でやらねばならないものと思う。